



前橋育英高校報

題字 中村有三 学園長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～

活躍する卒業生



※写真提供:明大スポーツ

明治大学硬式野球部主将 丸山 和郁(平成30年3月 普通科卒)

今年のドラフト会議で東京ヤクルトスワローズより2位指名をいただいた、明治大学硬式野球部主将の丸山和郁です。高校時代、荒井監督のもとで野球の技術はもちろんですが、人間としての在り



東京ヤクルトスワローズ 伊東昭光編成部長(写真右)

方を学びました。「当たり前のことを誰にも真似できないくらい全力で取り組む」言葉では簡単そうに見えますが、いざ行動に移すと簡単ではなく、この言葉のおかげで自分の未熟だった部分を高校3年間で学ぶことができました。また、学校生活では野球だけでなく勉強にも励みました。自分の将来の選択肢を増やすためにも生徒・学生の皆さんには文武両道を目指してほしいと思います。これから自分はプロ野球という厳しい世界で戦うこととなりますが、高校、大学で学んだ人間力を忘れず常に全力で結果を出し続けていきますので、これからも応援よろしくをお願いします。

愛される野球人に

硬式野球部監督 荒井 直樹



本校卒業生、丸山和郁君が先日のドラフト会議にて東京ヤクルトスワローズに二位指名されました。中学時代、捕手や遊撃手をこなし、器用な選手であると同時に、仲間に対する声掛けなど、野球に対する取り組みを見て、この子と一緒に野球がしたいなと感じ

ました。高校へ入り、その印象は三年間変わりませんでした。打撃・走塁は光るものがありました。秋・春・夏と最後には優勝投手としてマウンドにいて、強気な投球は仲間に勇気を与えてくれました。明治大学に進学し、四年生になり主将としてチームを支えました。まとめるのが大変だったと聞いていましたが、その経験が今後にも生きて来ると感じています。

プロ野球で活躍するのはほんの一握りです。大変な世界ではありますが、誰からも愛される野球人として長く選手生活を送って欲しいと願っています。

CONTENTS



特集 1～3面

- ・活躍する卒業生
- ・挨拶
- ・進路/スポーツ実績



保護者会だより 4・5面

- ・我が子を語る
- ・吹奏楽部定期演奏会
- ・甲子園応援



同窓会だより 6面

- ・同窓会長挨拶
- ・私の近況報告
- ・親子二代同窓生
- ・2022年度同窓生の集い



後援会だより 7面

- ・後援会長挨拶
- ・定期総会
- ・援助金贈呈式
- ・優秀前橋育英生
- ・コラム育英II



トピックス 8面

- ・全国大会出場決定
- ・文化部活動報告

理事長挨拶

ご挨拶



中村 義寛

(女子)の学科構成となっています。来年度からは保育科の改組を行い普通科V類保育コース(男女)として生まれ変わります。

前橋育英高等学校は今年で開校から59年目となり、来年度は60年目を迎えます。この間2万6千名を超える卒業生を輩出し、それぞれの方々が多方面で活躍されています。

前橋育英高等学校は昭和38年に普通科の男子校として開校し、その後男女共学となり昭和44年には工芸科、45年に保育科、50年に普通科に体育コースを設置その後、体育科となり、58年に英語科を設置するなど変遷を重ね、平成21年には体育科を普通科スポーツ科学コース(男女)、現在は普通科の男女共学I類・II類・III類・IV類スポーツ科学、及び保育科

本校は建学の精神として「正直・純潔・無私・愛」を掲げ、常に国際的視野に立ち、社会の福祉と世界の平和に寄与できる有為な人材の育成を図り、生徒の能力・適性・進路に応じた目的別教育を実践してきました。今後の更なる発展を目指し10年、20年後を見据え、教育内容・施設・設備の更なる充実、改革を実行し、より一層の文武両道を実現し、生徒第一主義の学校で在り続けます。

校長挨拶

ご挨拶



金子 雅人

母校の校長として、二年目を迎えました。今年度も昨年度同様、コロナ感染の影響を受ける中で、学校運営となりました。なかなか先の見えないコロナ禍ですが、それでもワクチン接種率の向上と、今後の治療薬開発に期待が高まれば、感染の終息

も期待されます。

教育現場においては、コロナ感染の度合いに応じての対応が可能になりました。今年度から本格的に導入されたICT教育は、情報機器の導入によるオンライン授業が可能となり、分散登校でも授業の遅れを解消することが可能となりました。しかし、相変わらず密による学校行事等の実施は、難しいのが現状です。

コロナ感染拡大を切っ掛けに我々の生活は、大きく変わりました。「新しい生活習慣」の導入と教育現場における様々な試み。我々としては、今後も「学びの保証」を第一に考え、頑張りたいと考えます。

副校長挨拶

ご挨拶



神山 義幸

副校長を拝命して二年目になりましたが、この間の学校運営は、どうしてもコロナ対応が中心となり、目の前の課題に対応するのが精一杯でした。また、今年度も昨年度に引き続き、各種行事が中止または延期になるなど、保護者の皆様、そして生徒達には大変辛い思いをさせてしまい、心苦しく感じております。生徒・保護者様のご理解・ご協力に改めて感謝申し上げます。

さて、そのような中でも、先方のご尽力により緊急事態宣言下でのオンラインでのHRや授業参加など、昨年度の課題であった点もある程度対応できるようになり、明るい兆しもあります。

日常生活がコロナ前と同じ状態になるにはもう少し時間がかかると思いますが、今後とも教職員一丸となって生徒達のため努力する所存です。関係者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

教頭挨拶

ご挨拶



上原 敏広

教頭を拝命いたしました。二年目となりました。コロナによって、教え方、学び方に変革を求められた二年でした。本校は先生方の熱心な取り組みと保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、なんとか所期の教育結果に至ることができました。保護者の皆様には改めてお礼申し上げます。さて、私たちは今後どのような過ごしていけばよいのでしょうか。

わからないことだらけの状況です。しかし何はともあれ、動揺せず目指すところを見失うことなく、コツコツと着実な一歩を重ねていくしかありません。『シマウマを追う者が、必ずしもシマウマを捕まえられるわけではないが、捕まえた者は必ずシマウマを追っ駆けていた者だ』というアフリカのみなさんがしつかりと夢を捉えられるよう所要所で指し示し導いていきたいと考えっております。

普通科V類保育コース

令和4年度入学生より、保育科(定員女子70名)が普通科V類保育コース(定員男女70名)に改組されます。これにより現在の育英短期大学保育学科への優先入学制度を維持しつつも育英大学をはじめ、4年制大学への進学など幅広い進路志望に対応できるようになります。



北毛病院ナースのお仕事体験を実施して



進路指導の一環として8月4日、本校にて北毛病院の看護師によるナースのお仕事体験を実施しました。コロナ禍において病院での看護体験の実施が難しい中、6名の看護師に本校して

「看護師を目指したい」という気持ちがあり強くなったと感じられました。忙しい中、生徒のために出張体験をしていただいた北毛病院の看護師の方々に感謝します。



スポーツ実績 2021 Summer~Autumn

陸上競技部

2021北信越インターハイ

男子

- 【やり投】須藤勇大(3年) 65m84 3位
- 【棒高跳】手島遼太(3年) 出場
- 原口顕次朗(1年) 出場
- 【4×400mR】神澤昂輝(3年)・松丸健太郎(2年)・宮崎大和(3年)・櫻井凧人(2年)・加達直哉(3年)・塚越大輝(2年) 出場
- 【ハンマー投】金古絆(3年) 出場
- 【400m】櫻井凧人(2年) 出場
- 【円盤投】室井健吾(3年) 出場

女子

- 【棒高跳】柳川美空(1年) 3m95 3位

第74回群馬県高等学校対抗陸上競技大会

男子 総合148.5点 優勝

- 【100m】熊川優輝(2年) 4位
- 【200m】櫻井凧人(2年) 1位
- 神澤昂輝(3年) 7位
- 【400m】神澤昂輝(3年) 3位
- 松丸健太郎(2年) 4位
- 【800m】齋藤碧(3年) 2位
- 【1500m】今井悠貴(1年) 3位
- 水越蒼生(2年) 5位
- 【5000m】水越蒼生(2年) 5位
- 江原守平(3年) 6位
- 【400mH】松丸健太郎(2年) 1位
- 塚越大輝(2年) 4位
- 【3000mSC】今井悠貴(1年) 3位
- 中村翔吾(2年) 5位

- 【4×100m】樋口怜大(1年)・神澤昂輝(3年)・松丸健太郎(2年)・櫻井凧人(2年) 1位
- 【4×400m】神澤昂輝(3年)・松丸健太郎(2年)・塚越大輝(2年)・櫻井凧人(2年) 1位
- 【走高跳】青木悠樹(1年) 3位
- 【棒高跳】手島遼太(3年) 2位
- 原口顕次朗(1年) 3位
- 【走幅跳】市川那智(1年) 8位
- 【砲丸投】室井健吾(1年) 5位
- 吉田彪岬(2年) 7位
- 【円盤投】室井健吾(1年) 1位
- 金古絆(3年) 5位
- 【ハンマー投】金古絆(3年) 1位
- 吉田彪岬(2年) 4位

【やり投】須藤勇大(3年) 1位 ※大会新

- 星野新之介(3年) 8位
- 【100m】須田七夕夏(2年) 8位
- 【200m】柳川美空(1年) 3位
- 【棒高跳】柳川美空(1年) 1位 ※大会新
- 【やり投】近藤千夏(3年) 4位

JOCジュニアオリンピックカップ 第52回U16陸上競技大会

- 【U16女子】
- 【棒高跳】柳川美空(1年) 4m01 優勝
- ※県高校新記録樹立
- 【U16男子】
- 【棒高跳】原口顕次朗(1年) 4m60 優勝

硬式野球部

- 第103回全国高校野球選手権大会 出場
- 第74回秋季関東地区高等学校野球大会 県予選ベスト8

男子サッカー部

- 2021北信越インターハイ 出場
- 第100回全国高等学校サッカー選手権大会群馬県大会 優勝

女子サッカー部

- 2021北信越インターハイ ベスト8
- 第30回群馬県高等学校女子サッカー選手権大会 優勝(9年連続11回目)
- 第30回関東高等学校女子サッカー選手権大会兼第30回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関東予選 7位

男子バスケットボール部

- 第75回関東高校バスケットボール選手権大会 優勝
- 2021北信越インターハイ ベスト8
- ウィンターカップ2021 県予選会 優勝(12年連続16回目)

女子柔道部

- 2021北信越インターハイ 団体出場
- 【48kg級】後藤美月(3年) 出場
- 【52kg級】小林未結(3年) 出場
- 【57kg級】長岡采枝(3年) 出場
- 【70kg級】相澤愛佳(3年) 出場
- 【78kg級】小山和珠(2年) 出場

ボクシング部

- 2021北信越インターハイ
- 【ウェルター級】石原エドワード太(3年) 出場

女子テニス部

- 県高等学校新人テニス大会全国選抜高校テニス大会関東地区大会群馬県予選 団体戦 優勝

水泳部

- 2021北信越インターハイ
- 武快飛(2年)
- 【200mバタフライ決勝】2分01秒78 7位入賞
- 【100mバタフライ決勝】54秒38 7位入賞

第56回県高校総体 競泳

- 【男子 学校対抗 優勝】
- 【50m自由形】羽鳥雄大(3年) 5位
- 【100m自由形】田村秀汰(1年) 5位
- 【200m自由形】福田和樹(2年) 4位
- 猪野楽人(2年) 8位
- 【400m自由形】樺澤冬磨(3年) 3位
- 【1500m自由形】樺澤冬磨(3年) 1位
- 大根原海翔(1年) 4位
- 【100m背泳ぎ】羽鳥雄大(3年) 4位
- 【100m平泳ぎ】朝比奈倫寛(3年) 1位
- 【200m平泳ぎ】朝比奈倫寛(3年) 1位
- 【100mバタフライ】武快飛(2年) 1位
- 【200mバタフライ】武快飛(2年) 1位
- 【200m個人メドレー】田村秀汰(1年) 4位
- 【400m個人メドレー】川野陽己(3年) 3位
- 【400mフリーR】武・羽鳥・田村・樺澤 2位
- 【800mフリーR】川野・羽鳥・福田・樺澤 2位
- 【400mメドレーR】羽鳥・朝比奈・武・田村 1位
- 【女子】
- 【400m自由形】荒谷桃花(2年) 1位
- 【800m自由形】荒谷桃花(2年) 1位
- 【100m平泳ぎ】井野風紗(3年) 4位
- 【200m平泳ぎ】井野風紗(3年) 5位

進路

～きっと見つかる、色んな夢～

進路指導部より

本年度も新型コロナウイルス感染症に伴い、年度当初予定していた進路行事が実施できない状況となっていました。一方で、夏休み初めの「校外進学合宿」に代わり、多くの方々のご配慮とご協力により「五十時間校内学習会」を実施することが出来ました。

「変化」に対応する「進化」

進路指導部主任 西岡良幸

本年度も新型コロナウイルス感染症に伴い、年度当初予定していた進路行事が実施できない状況となっていました。一方で、夏休み初めの「校外進学合宿」に代わり、多くの方々のご配慮とご協力により「五十時間校内学習会」を実施することが出来ました。

社会情勢の変化に対応し、我が校においても授業のライブ配信やリモートでの進路講演会の実施など、進化を遂げています。また、「育英通信第3号」に掲載された内容ですが、後悔には「行為後悔」と「非行為後悔」があるそうです。非行為後悔は「こうしていたら…」という思いが強く残っています。後悔の念を断ち切れない状況である一方で、行為後悔は結果が出てしまっているため反省しやすく、次へのステップに進めやすくとされています。このことから変化を恐れず、果敢に挑戦する気持ちを忘れずに一歩前に踏み出す勇気を持ち続けましょう。

保護者会だより

「このときを」



保護者会長 中村 洋平

今年度保護者会長を仰せつかりました中村と申します。新型コロナウイルス感染症により「命の尊さ」「新たな生活様式」について社会・教育ともに課題提起を受けている渦中にあります。本校を卒業した生徒の一人としてこの時期に母校の保護者会に携われることに感慨深い気持ちであります。

金子校長先生からは、生徒の活動・参画への期待と想いを肯定しつつ「命の尊さ」と「建学の精神」を柱に生徒の安全を第一に、学習・部活動・年間行事の場面で教職員と決断をしていくと明確なビジョンを示して下さいしております。

保護者会としても前橋育英高校への信頼をおき、引き続き協働させていただきたいと思っております。

男子バスケットボール部 保護者(生徒名)

有意義な時間

久岡 賢一 (賢太郎)

あっという間に3年間が過ぎた気がしますが、子供達にとっては、充実した3年間だったと思います。コロナ禍の中、無観客ではありましたが、各大会も開催され、関東大会では優勝、インターハイではベスト8と成績を残す事が出来ました。父母達の若干の不満と言え、会場で直接応援が出来なかつた事です。SNS上ではありましたが、毎年恒例のチビツ子チームが全国の大型チームと対等に闘っている姿は大変誇らしく、感動しました。



バスケットボールは、12月末に最後の大きな全国大会

会が控えているので悔いのないように頑張ってください。3年間培った経験を糧に、各々次のステップへと進んで行って下さい。

御指導くださった先生、コーチを始め、スタッフの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

有難う御座いました。



書道部保護者(生徒名)

協力

井上 隆 (莉緒)

育英高校での3年間はとても充実した高校生活であったと思います。

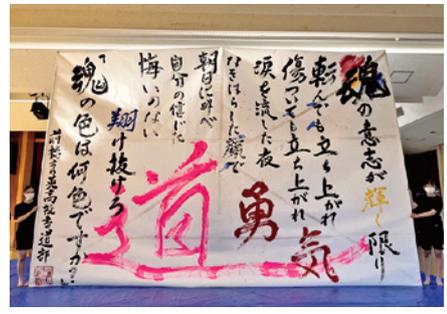
入学した年の育英祭ではみんなで協力し、書道パフォーマンスに挑戦し、音楽に合わせ息の合った動きで見事に堂々と書き上げていました。まだまだ新型コ



たと思います。

個人の作品では群馬教育展覧会で推薦※と言う賞をいただけました。この3年間とても良い経験をさせていただき、大きく成長した我が子を見る事ができとても嬉しく思います。3年間支えてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

※高円宮杯日本武道館書写道展で大会奨励賞



恵まれた3年間

新井 基之 (爽太)

一年の春から育英高校で卓球に打ち込んできました。が、新型コロナウイルスの影響により、二年の春から試合や練習が十分にできない状況となりました。特に、三年生で迎えた今年の県総体では、新型コロナウイルスの影響が続き、残念ながら不完全燃焼



県総体・団体戦ベスト8決定戦進出 個人戦ベスト16決定戦進出



で終わったという思いは否めません。

しかし、部活動が子供たちに与えてくれるのは「勝利の喜び」だけではありません。チーム(団体)として結束し選手同士が切磋琢磨すること、良い師と出会うこと、かけがえのない友人を作ること、自分を信じて挑戦すること。そして、挫折もまた、人間力を高める重要な要素だと思います。

我が子が語ってくれる部活の話から、良い師、良いチームメイトに恵まれ、充実した活動を続けてきたことが伝わってきます。ご指導いただいた黒木先生、遠藤先生、一緒に活動してきた生徒たちと家族の皆様、活動を支えてくださった高校の皆様、深く感謝いたします。

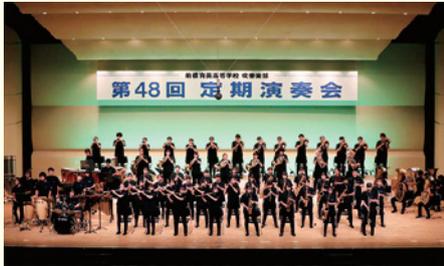
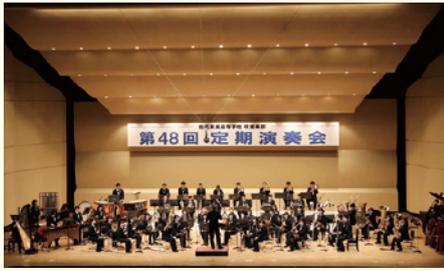
吹奏楽部

第48回定期演奏会を終えて

吹奏楽部部长
高柳 萌衣那

昨年度に引き続き今年度の定期演奏会も、ホールへの来場は部員の保護者に限定し、一般の方はオンライン配信からご覧いただきました。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令・延長の影響で、約1カ月の部活動休止となり、宣言解除から定期演奏会までに私たちに与えられた時間は2日でした。



できる限りの準備をしましたが、どうしても拭いきれない焦りと不安を抱えつつ当日を迎えました。

しかし開演すると、保護者のみとはいえ、お客さんが楽しそうに演奏を聴いている姿や、苦楽を共にしてきた仲間たちの一生懸命な様子から元気をもらい、終演まで演奏することができました。「上手な演奏」とは言いがたかったです。「最高の演奏」だったと思います。

皆様の応援あつての定期演奏会でした。本当にありがとうございます。

甲子園応援

甲子園応援を終えて

吹奏楽部顧問 深澤 準一

コロナ禍の影響で昨年度から多くの学校行事や部活動行事が中止となり、吹奏楽部顧問としても、「前橋育英らしい活動」をさせてあげられないもどかしさが常にありました。そのような中、硬式野球部が甲子園出場を決め、甲子園での演奏機会を与えてくれたことに、改めて感謝申し上げます。県大会で優勝を決めた直後、荒井監督から「甲子園への出場は、8割は応援のおかげです」との言葉を頂き、それを部員たちにも伝えました。

甲子園応援を終えて

ダンス部顧問 木村 聡

甲子園出場、誠におめでとうございます。硬式野球部におかれましては、コロナ禍で活動が制限され、本来の練習がでさず苦しいチーム運営を強いられたことでしょう。また、練習試合等も中止になり、実戦経験を積むことが困難であったに違いありません。しかし、そのような逆境を見事にはねのけ、5大会連続甲子園出場という快挙を成し遂げました。

選手たちがマウンドで奮闘する中、応援の選手たちも声が出せないものの、精一杯応援



を届けました。また、応援に駆けつけたダンス部と吹奏楽部も制限がかかる中で、できる限りのエールを送りました。連日の雨にもかかわらず、選手たちを温かく見守り、協力いただいた保護者やOB・OGのみなさまにも感謝を申し上げます。今後も硬式野球部の活躍に期待しています。



コロナ禍は私たちに無力感や虚しさを抱く機会を多くもたらしました。しかし、少なくとも応援活動に携わった生徒たちは、「自分たちの応援が野球部の力になった」という「自己有用感」や、甲子園応援という機会を作ってくれた関係者に対する「感謝の気持ち」を抱くことができたことと確信しています。

夏大会を終えて 御礼

硬式野球部保護者会長 皆川 清春

日頃より、硬式野球部の活動について、御理解及び格別な御支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、7月10日に開幕した第103回全国高校野球選手権群馬大会においては、激戦ブロックを一戦一戦レベルアップしながら勝ち上がり、決勝戦では、宿敵健大高崎高校との接戦をものにし、大会5連覇することが出来ました。

群馬県代表として参加した第103回全国高校野球選手権大会において、対戦相手が選抜大会にも出場した京都国際高校に決まりました。コロナ禍の中、試合が出来ることに感謝しながら、まずは初戦突破を目指し調整しておりましたが、度重なる天候不良による日程変更、長期間のホテル生活等もあり、調整が非常に困難だろうと心配しておりました。

それでも、試合が始まれば県大会同様、プラスバンド、チアガール、皆様



方の応援に後押しされ、守備からリズムを作る前橋育英野球を見せてくれました。最後まで諦めることなく、チームスローガンの「一心」を胸に戦い抜きましたが、惜しくも初戦敗退となりました。改めて選手権大会での1勝の重みと、全国のレベルの高さを感じました。今までに無い日程の中、臨機応変に対応いただいた学校関係者の皆様、保護者会やその他の多くの関係者の皆様方に感謝申し上げます。何度行っても『甲子園』は本当に素晴らしい所でした。選手の皆さんには、あの場所での光景をしっかりと胸に刻み、これからの人生の糧にして日々の成長を期待しております。今後とも引き続き、硬式野球部の活動にご支援のほど宜しくお願い致します。

前橋育英

雄渾

同窓会
だより

精力善用

同窓会長 新井 信雄
(第3期生・昭和43年卒)



前橋育英高等学校同窓会の皆様方におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスについては、昨年の正月早々に発生し感染拡大が世界に広まり、人類がこの驚異を目の当たりに感じながら戦った一年でありました。とにかく我々は「3密のルール」(密閉、密集、密接)をしっかり守りぬき、この新型コロナウイルスに打ち勝とうではありませんか。そのために規則正しい日々の生活を送っていただきたいと思えます。

調整を強いられ選手の明暗は分かれた。一方、若い力の台頭が目立つた日本選手団は27個の金メダルを獲得し過去最多。「お家芸」から新競技まで幅広く活躍する中、注目を集めた優勝候補の結果も明暗が分かれた。今大会で最多9個を量産した柔道では73kg級の大野将平が2連覇を達成し「我慢と自分の柔道で勝ち取れた金メダル」と誇った。たくさんの選手たちを見て神業としか思えませんでした。選手はここに至るまでどれほどの努力を重ねてきたのでしょうか。それには両親の温かい心、トレーナーの励ましと厳しい指導、周りの人たちのたくさんさんの愛の手助けもあつたでしょう。「第103回全国高校野球選手権東大会」、決勝戦、前橋育英が延長12回の末6-1で健大高崎を退け5大会連続6度目の夏の甲子園出場を決めた。北信越総体2021においても団体、個人と多数の選手が本校から出場し活躍した。

精力善用、物事をなしとげる心身の元気をよい目的に使う。小さき者、弱き者に寄り添うべきその人たちが主役になれるような環境を目指すことがあつていいだろう。

親子二代同窓生



小林 茂樹

(第26期生・平成33年卒)
空琉 (普通科3年)

写真左

昭和63年に前橋育英高校に入学し2、3年時の担任が大館先生でした。思い出はいくつもあります。修学旅行の集合写真で生徒の学ランを着て撮影し、とてもお茶目な先生だったのを思い出します。

そして令和に変わる頃、息子が入学しました。1年の冬からコロナ禍で学校行事は軒並み中止、不自由な高校生活を見てると残念でなりません。3年になり担任が大館先生と聞いて、親子揃って担任を務めて貰うとは嬉しかったです。今年度をもって退職と聞き、最後の卒業生との事でも感慨深いです。これからもお身体を労つてお過ごしください。

齋藤 礼歩

(第26期生・平成33年卒)
覚弥 (普通科3年)

写真右

私が前橋育英高校を卒業

したのはちょうど30年前。大館先生には3年間担任をしていただきましたが、目立つことなく過ごしていたので先生の記憶に残っていないと思っていました。

ところが息子が2年生になり数日後、大館先生から電話をいただきました。驚きと覚えていてくれたことにも嬉しく思いました。息子は3年でも担任をしていただき親子でお世話になりました。37年間の教員生活最後の担任をしていただいたことに感謝をするとも、この縁を大切にしたいと思いました。

今年度で定年を迎えられる大館先生、お世話になりました。

担任 大館 保 (旧姓松本)

写真中央

教員生活も37年目、還暦を迎えました。沢山の生徒を教えてきました。兄弟姉妹、親子で教えるも数多くいます。現在私のクラスに父子共々私が担任という親子が2組います。更に親同士もクラスメイト。父親二人は昭和最後の入学生、子ども二人は平成最後の入学生と、何かの縁を感じざるを得ません。

担任生活最後になるであろう今年度、こんな奇跡のようないふことが起こり、私立学校ならではのことで幸せを噛みしめています。

私の近況報告

それぞれの道

小川 駿輝
(第49期生・平成26年卒)



兄弟ともに前橋育英高校でたくさんのご縁を学び、野球を行ってきました。それぞれ大学でも野球を続け、将来は2人して野球をずっと続けていくだろうなと思っていました。しかし僕は大学卒業後、選手としてプレーするのではなく母校で指導者としての道を歩んでいくことに決めました。(選手として活躍するということとは弟に託しました)

野球が好きで続けている生

徒たちにもっと野球を好きだなと感じてもらい、歳をとってもみんながキャッチボールができることを夢見ています。

千葉ロッテマリーンズ
小川 龍成
(第52期生・平成29年卒)

僕は、3つ上の兄と同じ前橋育英高校の野球部に入り、多くのことを学びました。大学卒業後は、兄は指導者として、僕は選手として、野球を続けていくことになりました。指導者と選手で、立場は違いますが、野球が好きなこと、生徒や子どもたちに、野球の楽しさや良さを伝えていきたいということは一緒だと思います。

僕の活躍する姿を見て、多くの子どもたちが希望を持って野球をしてくれればいいなと思っています。

前橋育英高等学校

2022年度 同窓生の集い

(同窓会総会・講演会・懇親会)

日時 2022年7月2日(土)
午後5時より

場所 ホテルラシーネ新前橋
前橋市古市町1-35-1

卒業生ならどなたでもご参加OKです!!
お気軽にご参加下さい!

詳細については後日同窓会HPまたはFacebookにてお知らせします。

★同窓会のホームページが出来ました★

<http://www.mikuei-dousoukai.com/>

後援会だより

自信を楽しんで

後援会長 福島 英人



1964年から57年が経過した本年二回目の東京オリンピックが開催されました。コロナウィルス感染拡大の心配もありましたが、大きな混乱もなく無事終了し幕を閉じました。

出場選手たちのパフォーマンスには心躍り、その結果に一喜一憂しました。全ての選手が自分を信じ、実力を出し切った結果を感動と共に見ていました。

その中で、スケートボードの競技のイメージを変えたものがありました。相手の成功を自分の事のように喜び祝福する。これには少し驚きました。

また、少し以前からですが、競技を前にしてのインタビューが「頑張る」から「楽しんでくる」に変化し、競技の結果に対しては「応援してくれた方への感謝」を言葉にする世代に、心強さと期待を感じました。

次世代を担う若者を信じられない社会に未来はありません。今「新しい日常」が始まったところです。社会情勢を見れば、バラ色の未来が待っているという訳でも、その努力が必ず報われる保証がある訳でもありません。しかし、その努力の賜物としての自信と、共に同時代を生きた仲間との絆は、一生涯の心の支えとなり、世代を担う若者になつていくことでしょう。

後援会の目的は、建学の精神である『正直・純潔・無私・愛』を基盤として、社会に求められる卒業生を送り出し、併せて育英高校の発展に寄与するところにあります。本校で学ぶ全ての生徒が、その努力に自信を持ち、一生涯の仲間と共に、信頼される人達となれるよう、後援会として側面から支援してまいります。

皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

令和3年度 後援会定期総会

副会長 丸山 裕之

今年度の定期総会も新型コロナウイルスの影響を受けて、書面開催にて成立されました事を、ご報告致します。

緊急事態宣言が解除されて、様々な活動が以前に戻りつつあります。まだまだ予断を許しません。が、高校生活に支障がないことを心より祈ります。

「我以外皆我師」高校時代に出会った先生や部活動の指導者さんが一生の師であると言う友人が多い。この前橋育英高校時代に多くの師に出会える学校生活であつて欲しいと願っております。早く皆さんと再会できそうです。

学校後援会援助金贈呈式

柔道部顧問 佐藤 達也



日頃より、前橋育英高校のクラブ活動にご支援、ご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。クラブ顧問を代表いたしまして感謝申し上げます。

さて、7月20日、本校会議室において学校後援会援助金・同窓会激励金贈呈式が行われ、同窓会佐田知弘副会長より激励の挨拶をいただき、援助金・激励金が各クラブ顧問代表者に贈呈されました。未だ新型コロナウイルス感染拡大により練習・遠征合宿・大会などに困難を生じ厳しい練習ができない状況が長く続いておりますが、各クラブ感染予防対策を行い生徒達の自己実現に向け選手強化に努めております。今後も、まだ収束が見えない新型コロナウイルスに負けず皆様の期待に応えられるよう日々努力していきたいと思っております。今後ともご支援、応援をよろしくお願い致します。

後援会からの車両寄贈

事務長 武田 雅彦



11月22日、本校後援会のご厚意により、新型ミニバン(日産セレナ)8人乗りが高校に寄贈されました。

これまで使用していた後援会寄贈車(平成14年製トヨタ・エスティマ/8人乗り)の走行距離が20万キロを超え、各所に故障が出始めたため、安全を考え、更新していただくことになったものです。

今回納車された最新安全装備の搭載されたミニバンを大切に使用し、クラブ活動や保護者会・後援会活動などに役立てていきたいと思っております。



令和3年度「優秀前橋育英生」

今年度の「優秀前橋育英生」は、次の生徒達に贈られます。表彰式は12月23日終業式後に執り行われます。

陸上競技部 柳川 美空(1-5)

JOCジュニアオリンピックカップ第52回U16陸上競技大会 女子棒高跳 4 m 01 優勝 県高校新
原口 顕次朗(1-12)

JOCジュニアオリンピックカップ第52回U16陸上競技大会 男子棒高跳 4 m 60 優勝
放送無線部 村上 龍馬(3-9)

第45回全国高等学校総合文化祭の国わかやま2021総文 朗読部門 参加
第68回NHK杯全国高校放送コンテスト 朗読部門 出場

星野 珠季(3-1)・山本 穂香(2-4)

第68回NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門 出場
塚越 愛子(2-1)

第68回NHK杯全国高校放送コンテスト 朗読部門 出場

コラム育英Ⅱ

二〇二〇年東京 コロナ禍のオリパラ開催

当初の予定から一年遅れて行われた東京オリンピック、パラリンピック、皆さんはどのような気持ちで観戦をしましたか？また選手の方はどんな気持ちで競技に向かっていたのでしょうか？延期、中止と様々な意見が飛び交い、ギリギリまで検討されながらも、開催が実行されました。

開催にあつて、感染対策、ボランティア対応、医療従事者の方々の協力など、さまざまな調整を余儀なくされたと思います。その厳しい状況の中でも、無事に終了する事ができましたが、この日本の開催は全世界に忘れられない記憶を残したことでしょう。終わってみて、皆さんは、どんな気持ちになりましたか？

私は感動しました。自己の能力を高め、どのような障害があっても、諦めない精神を忘れない、この事は、仕事やプライベートにも通ずることだと思っております。(〇記)



